



選

北海道日本ハムファイターズ応援大使ご当地給食 手の好きだった給食を味わいました

9月29日、町内の小・中学校で、北海道日本ハムファイターズ『北海道179市町村応援大使2021』の企画として、厚岸町応援大使の清水優心選手と石井一成選手にちなんだ食べ物が給食で提供されたほか、厚岸町応援大使のランチョンマットが配布されました。この日のメニューは、清水選手が好きな卵スープ、ミルメーク、石井選手が好きな和風ハンバーグなど。また、11月1日の給食には、ブライアン・ロドリゲス選手にちなんだ食べ物が提供される予定です。

厚

生きがい大学町内研修 岸の歴史を感じながら

10月14日、生きがい大学の町内研修が行われました。この日は、原生花園あやめヶ原や愛冠岬、ピリカウタから望む小島・大黒島、苫多海岸など、厚岸の観光十景をバスで巡りました。

また、蝦夷地における歴史的役割を果たした重要な寺として、国の史跡に指定されており、厚岸の観光十景でもある国泰寺を見学。参加者は境内を巡りながら、厚岸の歴史を学びました。



感

子育て講座『最近の感染症事情』 感染症について学びました

10月8日、保健福祉総合センターにおいて、町立厚岸病院の佐々木院長を講師に子育て講座が開催されました。

新型コロナウイルスの感染者数や、新型コロナウイルスワクチン接種の効果などを分かりやすく解説しました。

また、全国的に感染者が増え、最近厚岸町でも感染者が増えてきたRSウイルスについて、症状と治療方法についても解説。参加した父母からは、新型コロナウイルスワクチンについての質問などが飛び交いました。

お

人権教室 もいやりとやさしさを大切に

9月28日、厚岸町人権擁護委員を講師に迎え、真龍小学校の3年生35人、5年生39人を対象に『人権教室』が行われました。

5年生を対象にした人権教室では『短冊ランキング』という手法で、いじめについての意見をグループ内で話し合った後、グループごとに発表し、多かった意見を共有しました。みんなそれぞれが違うことを認め、相手への思いやりと優しい心の大切さを学びました。

